

平成 22 年 7 月 16 日に庄原で発生した集中豪雨に対する
現地調査結果について

平成 22 年 7 月 23 日
国土交通省中国地方整備局
(T E C - F O R C E)
広島県土木局
砂防ボランティア広島県協会

- ・ 豪雨による土砂災害の発生を受け、土石流とがけ崩れを中心に、土砂崩壊が発生した箇所への二次災害防止、周辺地域の危険箇所等の安全性の点検を実施した。
- ・ 調査結果については、広島県及び庄原市が進める警戒避難、緊急対策、恒久対策の基礎資料となる予定です。

1 平成 22 年 7 月 21 日（水）の調査状況

(1) 現地調査人員

- ・ T E C - F O R C E（中国地整）：3名
- ・ 広島県：3名
- ・ 砂防ボランティア：8名
- ・ コンサルタント：3名 総勢：17名

(2) 調査箇所数

55 箇所

2 平成 22 年 7 月 22 日（木）の調査状況

(1) 現地調査人員

- ・ T E C - F O R C E（中国地整）：3名
- ・ 広島県：3名
- ・ 砂防ボランティア：9名
- ・ コンサルタント：3名 総勢：18名

(2) 調査箇所数

39 箇所

3 土砂流出の危険度調査の結果

各調査箇所について以下の『危険度』を目安にして評価する。

- A 豪雨による土砂流出や斜面崩壊等の恐れがあるため、応急対応が必要なもの。
- B 豪雨による土砂流出や斜面崩壊等の恐れがあるため、降雨状況によっては注意を要すもの。
- C 現状では土砂流出等による被害の恐れは少ないと見込まれるもの。